



大けやき道公園 記念植樹式

平成29年11月16日（木）午前9時40分～11時00分
小平第十二小学校内及び大けやき道公園（小川町1丁目591-1）

11月16日に大けやき道公園で記念植樹式が行われました。植樹式は小平第十二小学校の6年生児童や小平市長をはじめ多数の来賓が出席し、公園内にコナラの苗木63本が植えられました。当日は公園での植樹活動のほか、植樹の意義を知ってもらうため教室での授業も行われ、子どもたちは様々な活動を通して、緑と触れ合う1日となりました。

当日の活動の様子をまとめましたので、ぜひご覧ください。

まずは教室で植樹について授業

大けやき道公園では、公園敷地内で行われた工事の支障となることから、やむを得ず公園内のほとんどの木が伐採されてしまいました。ここで工事が完了し、大けやき道公園に再び緑をよみがえらせるため、地元小学校やNPO等と市が協働し、今回の植樹式が開催されました。

公園に植えられた苗木には、「どんぐりの里親制度」で育てられた苗木が使われました。「どんぐりの里親制度」とは、平成24年からグリーンフェスティバル運営委員会が市立小学校などで行っている制度で、子どもたちにどんぐりの里親になってもらい、どんぐりから芽が出たばかりの苗木を、子どもたちの手で2年間育ててもらい、大きくなった苗木を市内の樹林などに植樹して、緑の再生や若返りを図るものです。この制度によって本格的な植樹がされる第1号がこの公園となりました。

当日は植樹活動に先立ち、教室にて「どんぐりの里親制度」を主導するNPO法人東京どんぐり自然学校の山田理事長から、十二小の子どもたちに説明がされました。



大けやき道公園に移動



山田さんの授業を受けた後、子どもたちは歩いて大けやき道公園まで移動し、これから植樹をする、まだ何も植えられていない状態の公園の様子を観察しました。

普段見慣れない公園の様子をみなさん興味深そうに観察しています。

植樹式が始まりました



植樹式には、小林市長のほか小平商工会の猪熊会長をはじめ、関係する多数の来賓の方が子どもたちの姿を見にお集まりいただきました。

小林市長の挨拶や、これから行う植樹の手順説明に、子どもたちは熱心に耳を傾けています。

みんなの手で苗木を植えます

お待ちかねの植樹活動です。子どもたちは、どんぐりの里親制度でどんぐりから育てた、自分の里子のような苗木を1人1本ずつ大事に植えていきます。

東京どんぐり自然学校のメンバーの方も、慣れない作業に苦戦する子どもたちの指導に入ってくれました。





来賓の方と記念樹を

来賓の方と植えた大きな記念樹は、平成22年に小平商工会から寄贈されたものです。寄贈されたときまだ小さかった苗は、当時の十二小の6年生の手により上水新町の樹林に植えられました。それから7年が経ち、大きくなったコナラの木は、今の十二小の6年生の手により、大げやき道公園の緑の回復に役立てられました。



最後にみなさんと記念撮影を行い、植樹式は終了です。十二小の6年生のみなさん、関係者のみなさん、お疲れさまでした。

この日植えた苗木がすくすくと成長して、いずれこの公園が立派な森になっていくことを願っています。